

まちのできごと

国体選手が体育指導

センスアップ事業

10月16日と23日、藤里中学校体育館において、県教委の体育学習センスアップ事業が開催され、藤中3年生がフットサルに挑戦しました。

この事業は、陸上や体操、球技の専門性を有する指導者を学校の体育授業に派遣し、運動好きな子どもの育成を図ることを目的としたもので、秋田わか杉国体女子サッカーに出場した大山百合子さん（秋田市）と山田雅奈恵さん（同）が講師を務めました。

授業では、基本となるバスやドリブル練習、ミニゲームなどを行ない、はじめは戸惑い気味の生徒も次第に感覚をつかみ、夢中でボールを追いかけていました。



基本が大切です

10月19日、藤里町身体障害者協会（小）
身体障害者協会美化運動
ポイ捨ては止めよう

森正直会長）による空き缶拾いが行われました。

この日は、会員30名が参加し、藤琴橋から遺産センター周辺までの県道脇を4班に分けて作業を実施。歩きながらポイ捨てされた空き缶やペットボトル等を拾い集め、美化運動に取り組んでいました。



こんなに沢山のゴミが…

ふれあいの森づくり

米小児童らが記念植樹

東北電力関連会社の東北用地（仙台市）は10月24日、岳岱自然観察教育林内にある「ふれあいの森」において、米田小学校の児童らとともにブナの苗木を植樹しました。

同社は環境マネジメントシステム活動の一環として今後5年間、ふれあいの森の植林を行うこととしており、この日は同社の高橋社長をはじめ、石岡町長や町職員、米田小学校児童ら約70人が植樹に参加。児童らは記念標柱とともにブナの苗木を一本一本丁寧に植えていました。

10月19日、藤里町身体障害者協会（小）
身体障害者協会美化運動
ポイ捨ては止めよう

同社は環境マネジメントシステム活動の一環として今後5年間、ふれあいの森の植林を行うこととしており、この日は同社の高橋社長をはじめ、石岡町長や町職員、米田小学校児童ら約70人が植樹に参加。児童らは記念標柱とともにブナの苗木を一本一本丁寧に植えていました。

大沢グラウンドに集合した各分団員を前に、昇格や採用辞令が交付された後、殉職消防団員への默とう、人員報告、団長訓示に続いて石岡町長より「今日の訓練は住民の皆さんにとって力強く感じているものと思います。大変意義があり火



実践さながらに

平成19年度藤里町消防団秋季訓練が11月4日、大沢地区を会場に105名の団員が参加して行われました。



閉校記念の標柱もたてました

万が一の有事に備え

秋季消防訓練

平成19年度藤里町消防団秋季訓練が11月4日、大沢地区を会場に105名の団員が参加して行われました。